

VSCodeからのGitHub操作手順

作成 まなぶてらす講師 タシロ

1) GitHubアカウントを作成

GitHub公式サイトにアクセス

<https://github.co.jp/>

サインアップから、ユーザー名、パスワード等を入力してアカウントを作成
(Googleアカウントからも作成可能)

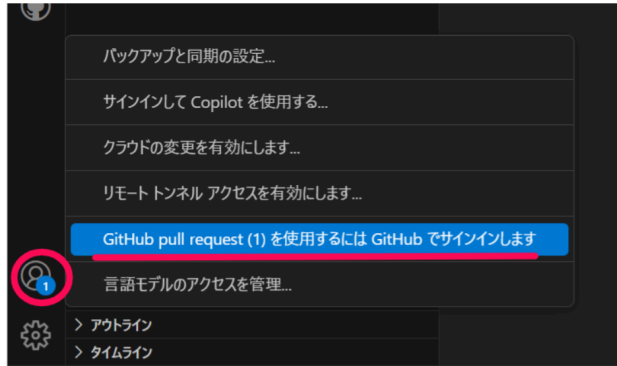
2) VSCodeで拡張機能(GitHub Pull Requests)をインストール

拡張機能から”GitHub Pull Requests”で検索してインストール

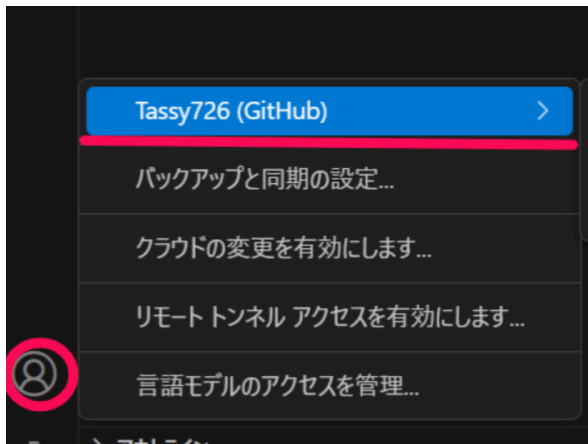


3) VSCodeからGitHubにサインイン

人型アイコンをクリックして、GitHubにサインイン



ブラウザでGitHubのログイン画面が表示されるので、サインインすると自動的にVScodeに戻ってくる
もう一度人型アイコンをクリックして、GitHubアカウント名が表示されていればOK



3) パソコン上にフォルダ(ローカルリポジトリ)を作成

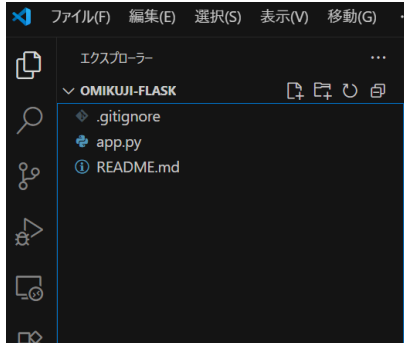
フォルダ名は英数字。記号は"-(ハイフン)", "_ (アンダーバー)"のみ使用

フォルダの中に以下のファイルを配置しておく。

.gitignore	Gitの追跡から除外するファイルやフォルダを指定する
README.md	プロジェクトの概要や使い方を説明するためのドキュメント
app.py	特に必要ではないが、空のPythonを入れておく

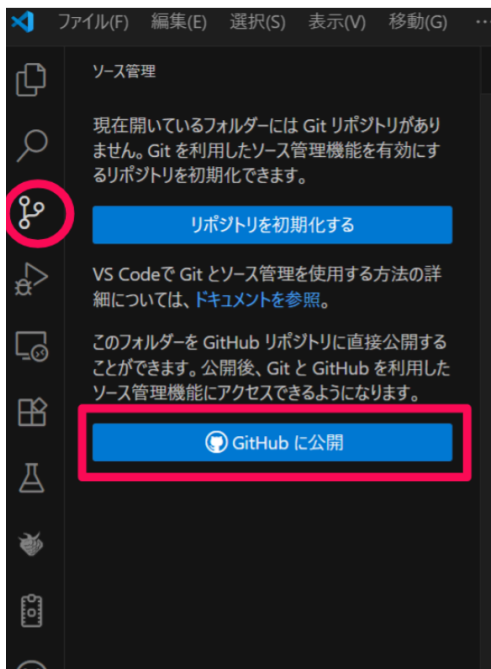
4) VSCodeからフォルダ（ローカルリポジトリ）を開く

3)で作成したフォルダ（ローカルリポジトリ）を、「ファイル」メニューの「フォルダを開く」から開く

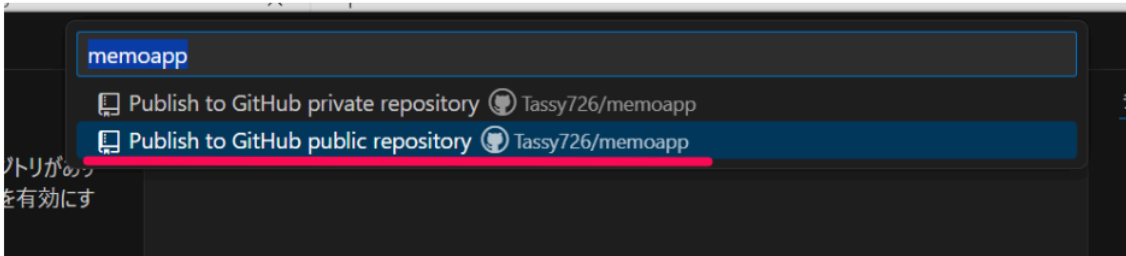


5) GitHubにリモートリポジトリを作成する

「ソース管理」(下図赤丸)から「GitHubに公開」をクリック

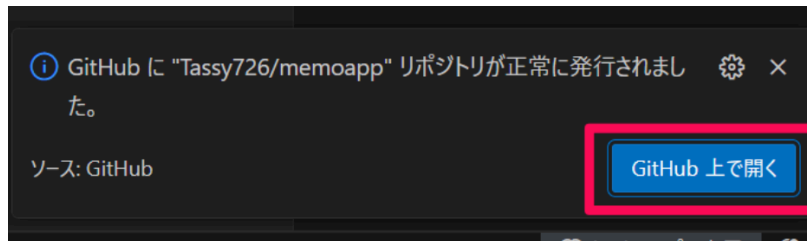


VSCodeの上部入力ボックスに以下の選択肢が表示するので、**public**(公開)をクリックする



6) リモートリポジトリの確認

VSCodeの右下に下図のようなメッセージが表示されるので、「GitHub上で開く」をクリック



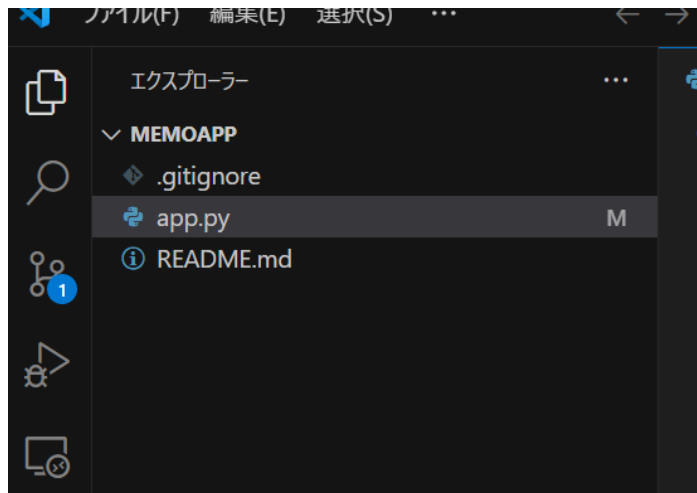
ブラウザ上で、リモートリポジトリを確認する



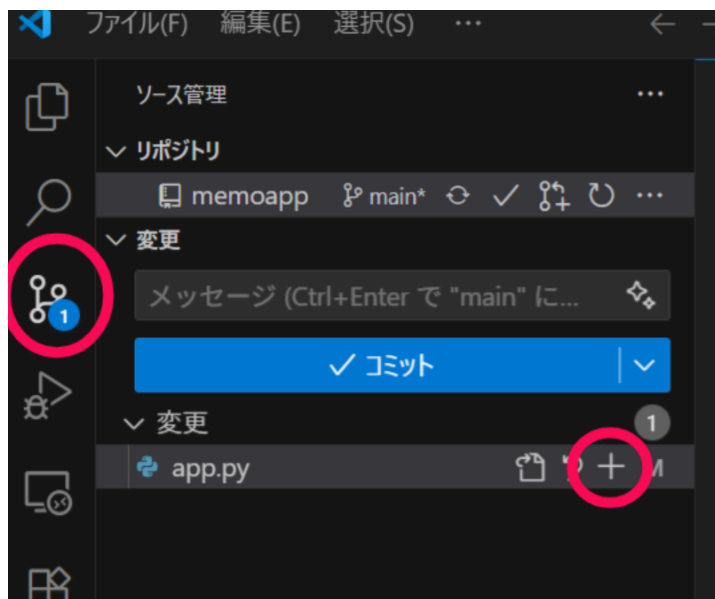
7) ステージング

※ ステージングは、Gitでコミット(保存)したいファイルを「準備エリア」に置くことです。

ファイルを編集すると、以下のようにエクスプローラで「M」という文字、ソース管理に①(編集箇所)が表示する



「ソース管理」を開いて、変更したファイルの「+」をクリックしてステージング

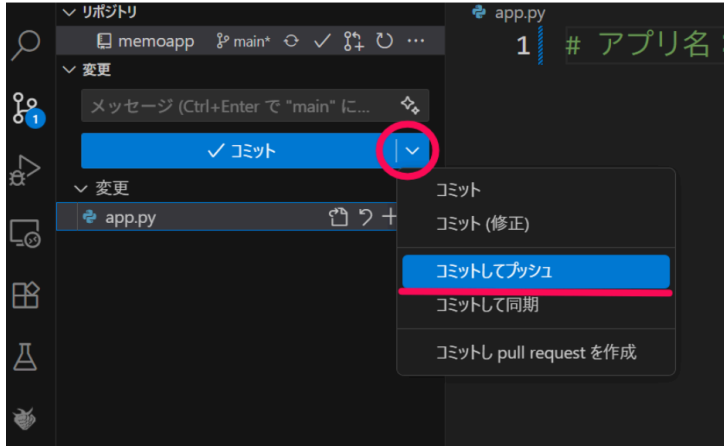


8)コミット&プッシュ

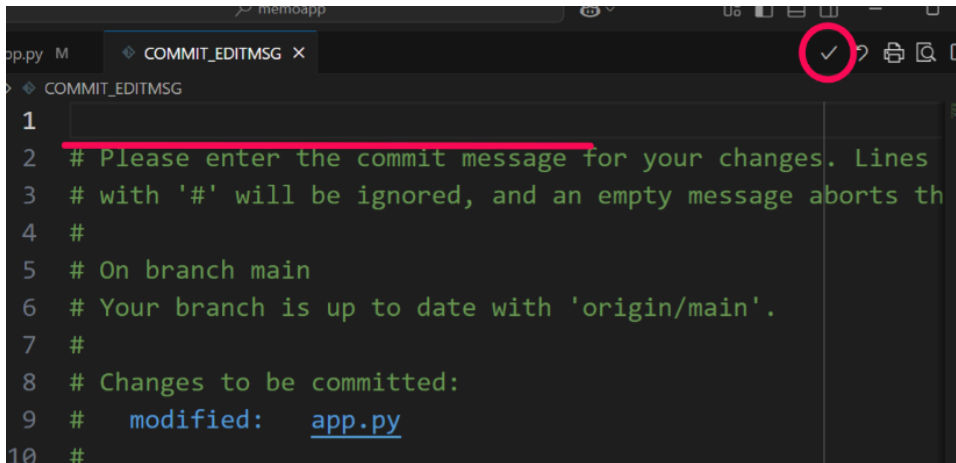
※ コミットは、ステージングしたファイルの変更を「履歴として記録」することです。

※ プッシュは、ローカルのコミット履歴を、**GitHub**にアップロードすることです。

「ソース管理」の「コミット」右端の下向き矢印をクリック、「コミットしてプッシュ」を選択



赤線の部分に、どんな編集をしたかのメモを入力、赤丸のレ点をクリック



「保存」をクリックしてコミット＆プッシュ実行



あとは、編集したら、適宜、7)、8)をくり返す